

ゆたかな労働と 生活の場をめざして

発行. 社会福祉法人ときわ会 〒187-0032 小平市小川町 2-1159 番地
URL <http://www.asayake.or.jp>

あさやけ
だより
No. 499

あさやけ作業所	小平市小川町 2-1159 番地	TEL 042-345-4575
あさやけ第二作業所	小平市小川町 2-1159 番地	TEL 042-345-1564
サングリーン	小平市小川町 1-943 番地	TEL 042-345-1585
あさやけ風の台作業所	小平市小川町 1-411 番地	TEL 042-346-2167
共同ホームつくしんぼ	小平市小川町 1-944-30 番地	TEL 042-342-7550
共同ホームこげら	小平市上水南町 2-21-17 番地	TEL 042-325-8716
共同ホームサンライズ	小平市小川東町 5-2-11 番地	TEL 042-346-0472
地域生活支援センターあさやけ	小平市小川東町 4-2-1 番地	TEL 042-345-1741
	小平元気村おがわ東1階	
共同ホーム一歩	小平市花小金井 7-2-24 番地	TEL 042-349-0306
あさやけ風の作業所	小平市中島町 3-8 番地	TEL 042-349-2366
共同ホームはやぶさ	小平市小川町 1-497-13 番地	TEL 042-313-6269
共同ホームさらさ	小平市小川東町 5-2-12-1 番地	TEL 042-313-2217



年賀状の注文をたくさんいただいただけならと作業所のテラスで、メンバーの二人がモデルになって宣伝用の写真を撮りました。年賀状の案内は四ページです。

年賀状印刷します

あさやけ風の作業所



山下 誠一郎さん
(あさやけ第二作業所)

仲間紹介

ひとりひとりが太陽



メンバーの人達と仲良くやっ
ていけたら

私は山下誠一郎と言います。ちなみに、僕は就職難民であり、ここあさやけ第二作業所でお世話になっていますが、皆メンバーの方達が好意を持って好きになっています。作業の取り組みは様々ですが、深い作業率には驚いています。

趣味は多々ありますがアニメのイラストや景色の特色をタッチや絵コンテ、初めは模写からですが、人物や物体、ロボット等、描いてとにかく動かすという取り組み、技術など様々な分野に広がって行っています。やはり最初は描くというよりとにかく書くことを大事に、運転手をして休むの時間メモ帳に書いていました。勉強は不足していますが、今思うとCDはプラック、R&B、レゲエ、ヒップホップ、ソウルなどアクセサリーも八十点宝箱にしまっていた時期もあり、今は黒髪を意識しています。色々な経験を兼ねており仕事経験も十二社になっていきます。これからのことは聞かれなくても先は見えています。今の自分は作品を作ること、落を考えています。

最近では眼鏡が欲しいです。目が悪くなった為ではなく便利だと思っただけです。スタッフの方達には自分みたいな者でも相手してもらって本当に感謝しています。ありがとうございます。

今一番したいことは映画のシリーズ放映されているのを鑑賞して最大の大きさのプラモデル作りを年末に作る予定になっています。今後、あさやけ第二作業所に通い多くを学び知り作業工程を増やし皆メンバーの人達と仲良くやっけていけたらなと思っています。

最近では眼鏡が欲しいです。目が悪くなった為ではなく便利だと思っただけです。スタッフの方達には自分みたいな者でも相手してもらって本当に感謝しています。ありがとうございます。

二〇〇一年二月に開所した「共同ホーム一步」は、開所以来二十年が過ぎた。現在、入居者の十名のうち九名は五十代以上で六十代の人もいる。家庭での介護力の低下などで五十歳を過ぎてから入居したメンバーもいるが、開所当時からいるメンバーは、両親が健在だった家庭も、親が無くなったたり、介護力が低下するなど、本人を取り巻く生活環境に大きな変化があった。また、本人自身も機能的に、今までできていたことができなくなり、体力低下するなどの変化があった。年をとるということはこういふことだと思いが、障害を持つ人の高齢化は一般の人より深刻さを増している。自身の機能低下がなくても、周りの介護力が低下すれば今までやれていたことができなくなり、生活の幅が狭まってしまうからで、自身の機能低下があればなおさらなことだ。もちろん新たな支援をすれば、今までは違った形で、豊かな生活を保障できると思われるが、なかなかできず、周りがギリギリのところではあるのが現状である。

一步のメンバーも今まで見守り介助だった人が直接介助に、一人介助だったのが二人介助になるなどの変化がある。健康面の取り組みは急務なのでそこを優先しているが、それさえ十分行っていない現状がある。なので、余暇時間を充実させ豊かな生活を保障するとい

一步の生活を通して入居者の生活を考える。
共同ホーム一步
小山 靖夫

うにはまだまだできていない。人の数だけ暮らし方があり、それは一步という同じグループホームに入っている人の中にもいろいろな生活の仕方や考え方があり、思われる。「一人暮らしがしたい」「もっとお母さんと一緒に過ごしたい」「もっとおでかけがしたい」「みんなでお母さんと一緒に過ごしたい」時間を大切にしたい」「二歩ですつとくらしたい」等々。それぞれの人があった、それぞれの人の望む暮らしを作っていくなければならぬと思う。それは一步という枠の中で考えるのではなく、法人内や法人外等々で。ときわ会の最初のホーム「サンライズ」が一九八八年にできてからすでに三十年以上がたった。この間ときわ会では、六か所のグループホームができ、国のグループホームの入居者が入所施設の入居者を抜くまでに増え続けている。しかし、国の支援内容は不十分で、ホームの入居者や父母、職員などの関係者の自助に成り立っているのが現状である。なおかつ今後、支援区分の低い人に入居期限を設けようとするなど制度改悪の動きもある。

グループホームの制度改善を求めるとともに、ホーム入居者を中心に関係者で協力しながら入居者の生活を充実させていきたいものである。

編集作業

文章やデータをもとに、各自が責任をもって打ち込みや写真の編集などの作業に当たっています。

チラシ・封筒の印刷

ご依頼の沿った版下を作成して、用紙や封筒へ印刷を行っています。

写真印刷・修正

お客さまから受け取った写真やデータから印刷を行ったり、画像を丸や四角く切り抜くことや、背景や人物などを差し掛け・消去する編集を行っています。

名刺印刷

お客様の連絡を取り合いながら、ご希望に沿った名刺を作成していきます。

キーホルダー

お客様の思い出やデザインした写真や絵を、○、□、△の形のオリジナルキーホルダーに仕上げます。

はがき・年賀状・喪中はがきの印刷

サンプルやご依頼のデザインを元に版下を作成して印刷をしています。「創英社」が販売する年賀状を受注するなどしています。

あさやけ風の作業所のとうたす班では印刷・入力の仕事を受けています



とうたす班は、肢体障がいのメンバーによる、パソコン作業を行う作業班です。メンバーの一人ひとりがパソコンに向かい、お客様から依頼された仕事に取り組んでいます。

仕事の依頼では、刊行物、記念冊子、名刺、年賀状などがあります。定期的に注文をしてくださる団体や地域の皆様のご注文のおかげもあり、今日まで作業に取り組めることができています。また地元の印刷会社「創英社」のご協力にも支えられています。

メンバーには、受注作業以外に創作活動として、アートフェスティバルなどに向けて紙芝居の台本を作っている方や、作業所の活動を知っていただくための「とうたす通信」や「Kaze通信」を発行するために、原稿の依頼、編集、印刷と自分たちで作成・発行をしている方がいます。受注を受けるためにチラシをみんなで案を出し合い、話し合いを重ねながら、自分たちでチラシなどを作り上げています。

仕事にまっすぐ向き合いますが、誕生日などの記念日があると、朝の会の時に歌を贈りあったりとみんな笑顔でお祝いをしたりしています。

「とうたす」では左記ような仕事をやっていますので、お気軽にご注文下さい。

オリジナルキーホルダー作りませんか

形は丸・四角・ハートから一つ一つ作成いたしますのでニーズにあったご注文をお受けできます



☆1個から注文OK☆

1個 380円

写真、絵、チーム名、仁チャル、ロゴ お名前入れなど可能です 画像やデータをご持参ください。

お気軽にお問い合わせください!!

お問い合わせ先 社会福祉法人ときわ会 あさやけ風の作業所 とうたす班 187-0033 小平市甲斐町3-8 TEL 042-349-2366 FAX 042-346-6609 mail:toutasu@asayake.or.jp



年賀状・喪中はがきの ご注文お待ちしております!



年賀状・喪中はがきサンプルあります。

ご注文は 12月3日(金)までに! お願いいたします!

《お問い合わせ》 社会福祉法人ときわ会 あさやけ風の作業所 とうたす班 小平市中島町3-8 TEL 042-349-2366 FAX 042-346-6609 E-mail toutasu@asayake.or.jp

(この表にハガキの料金は含まれていません) ※全面カラー印刷の場合は別途に300円プラスになります。 ※写真印刷の場合は別途に100円プラスになります。

枚数	白黒料金	カラー料金
1~10枚	1870	2640
11~20枚	1960	2970
21~30枚	2090	3300
31~40枚	2260	3630
41~50枚	2420	3960
51~60枚	2590	4290
61~70枚	2760	4620
71~80枚	2910	4950
81~90枚	3060	5280
91~100枚	3240	5610

・100枚以上でもお受けしています。 ・ハガキはこちらでもご用意出来ます。 ・ご持参下さる場合は・・・ デザインが決まってからご購入下さい。(デザインによって、インクジェット紙か、再生紙か、使用するハガキが異なります)



あさやけアートフェスティバル 2021 のアンケートから



- ・一生懸命に生きたいと強く思いました。生きていって素晴らしい！
- ・毎年みっていますが楽しくみせていただいています。心あたかくなります。
- ・前にも何度か来ていますが、皆さんの個性ある作品を見るととても感動します。絵もよいですが、言葉や文章が心に響きます。
- ・障害のある方たちの心の様子がわかり、とてもよいと思いました。いろいろな作業所のあること等わかりよかったです。
- ・すごくパワーをもらいました。色さわやかなたくさん作品が見れる貴重な機会だと思うので、これからも続いてほしいと思いました。
- ・車いす目線の高さになっており、また、木へのメッセージカード作りもあってとても楽しいです。
- ・とても素晴らしいです。もっともっと多くの方に見ていただきたいので、ここ以外にも身近に足を運べる機会があったら、子ども達にも見てもらえるかと・・・
- ・初めて作品にふれる事ができました。それぞれの思いが伝わって来て良かったです。このような機会があると嬉しいです。
- ・働くことは違う心のエネルギー全開という感じがとても良かったと思います。
- ・個性とあたたかみがあふれていてとてもすてきでした。
- ・初めてこのような展覧会があることを知りました。共感できる部分があり、とてもおもしろいなと思いました。
- ・コロナ禍で久しぶりの展覧会でしたので、懐かしい？感覚で見せて頂きました。見ているこちら共感できるものがいくつもありません。
- ・ていねいに展示してあり、一つ一つの作品、一人一人の作者を大切にしている様子がとてもいいと思います。
- ・いきいきとした表現で心が元気になりました。
- ・大変良かった！普段拝見出来ないの、来場してみても・・・皆さんの才能が凄い！
- ・どの作品にも物語があり、すてきですね。年に一度ですが、毎年たのしみしています。

*ご来場した多数の方からアンケートいただきました。来年も開催する予定です。

第23回社会福祉法人ときわ会実践交流会を開催

去る11月13日(土)に、第23回社会福祉法人ときわ会実践交流会を開催しました。長引くコロナ禍ということで、今年度は会場を10か所設けた、法人初のオンライン開催で行いました。午前中は、昨年度に引き続き、一般社団法人全国手をつなぐ育成会連合会常務理事兼事務局長の又村あおい氏の講演でした。知的障害者の8050問題について、その構造と支援のしくみについて、実にわかりやすく教えていただきました。午後は、4名の方の実践報告と、それぞれの会場にてグループディスカッションを行いました。昨年度は講演と発表を聞くのみでしたので、少しの時間ではありましたが、日々の実践を振り返りながら、職員同士が意見交換をできたことは大変有意義な時間となりました。



これまでこれからもグループホームの役割はとても大事な場なのだと思います。

グループホームは地域密着の少人数の生活の場です。共同生活の中で他人との信頼関係を広げ、自分の家族ともう一つその人にとって安心し楽しくその人らしく生活の場をおくる場なのだと再認識できました。そんな生活はその人の人生を豊かにしていくのだと思います。早い段階からご家族やご本人の不安を少しでも取り除き、もう一つの居場所の理解を広げていくことが大事だと思います。

平野 八千代 (共同ホームささら)

又村氏の講演では、8050問題がとりあげられ分かりやすい説明とともに特に障害分野での背景についての理解が深まったように思う。状態は似ているが背景が異なるとの説明になるほどなあと感概を持った。これからの課題は、その状態であろう今の家族の関係性からの進展をどのようにサポートしていくかという所に取り組むべき課題があるのだということがよく理解できた。実践レポートにおいては、それぞれの報告が良く練られており、内容が明確でわかりやすかった。支援の現場では往々にして思ったようにはいかないことも多いが、それぞれの立場や役割に応じて様々な悩みや葛藤が生まれていると知ることが出来た。どこまで支援に立ち入るのか、どのような内面を持っているのか、あるいは親御さんとの意思疎通などのある意味普遍的なテーマにもなり得る課題が多く共感する内容が多かった。

塩崎 京平 (あさやけ作業所)

受け入れがたい問題、は実はすでに始まっていた事柄で日々の営みから先送りしている物事かもしれません。講演8050問題は「わかっているけれど…」の部分で親子の関係性の分析もされていました。実践報告20年以上作業所に通ってきたAさんが高齢期に差し掛かり地域生活が難しくなったケースも想定はされることです。が、活動を共にした職員にはそれぞれ思いがあります。口元に手を当てはさずかしそうに笑う仕事、3歳頃のあどけないAさんが父親と縁側で撮った写真を大事そうに職員に見せてくれたことを思い出しました。形はどうあれこの先につながることを望みます。

齋藤 洋介 (支援センターあさやけ)

ときわ会に入職してちょうど丸3年の日に実践交流会に参加させていただきました。又村先生の講演では利用者側視点でのお金の話があり普段考えることはないことに触れ、改めて利用者の方の生活の幅広い支援できるように勉強・実践する必要があると感じ、また職員の皆様方の実践報告や討論からそれぞれの熱い思い・私には薄かった視野からの思考に触れ見地が広がったと同時に身が引き締まる思いです。

相場 修平 (共同ホームはやぶさ)

かわいい刺しゅう付き！

染めはんかち

動物や昆虫などのかわいらしい刺しゅうのワンポイントが付いた、染めはんかちができました！同じ刺しゅうでも少し顔が違ったり、これは何の刺しゅうだろう…と、つい手に取りたくなるはんかちです。お子様にもいかがですか？

染めはんかち 綿100% 30×30cm 1枚600円



服に直接刺しゅうができます。1刺しゅう100円で承ります。お気軽にご相談ください。

あさやけ鷹の台作業所 ART SHOP
042-346-2167



サングリーンからお知らせ

小平産ブルーベリージャム

今年も小平市内にあるベンズファームで収穫されたブルーベリーを使って、ジャムに仕上げました。ブルーベリーとグラニュー糖のみで煮詰めて作った甘さと酸味、ブルーベリーの良さが味わえるジャムになります。柔らかな食パンに塗ってもよし、もちろんトーストにもヨーグルトにもよく合います。

1個(195g)700円(税込)

■感染防止のため、新聞・雑誌等の回収品は玄関前にお出しください。ご協力をよろしくお願い致します。回収時間は午前9時から12時30分になります。

廃品回収のお知らせ

10月の廃品回収の回収量は8,495kgでした。内訳は新聞6,005kg、雑誌・ダンボール2,490kgです。収益は小平市の資源回収補助金も含めて105,740円でした

次回は12月18日(土)が回収日です。

雨天の場合は中止とさせていただきます。